

事務事業名	市民センター管理費										担当課	部課名	市民自治部片瀬市民センター			
予算科目コード	会計	01	款	02	項	01	目	13	細目	002	説明	01	課等の長	横田 淳一	電話	6264

1. 事業概要

事業開始年度	平成 元 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務		
事業概要	地域のまちづくりの拠点として、市民センターの機能を果たすために、施設を維持し行政サービスの提供を図った。						
対象	1. 個人	市民(片瀬地区)				19,872	人
根拠法令等	条例(市)	藤沢市市民センター条例					
事業実施内容	地域活動及び地域まちづくりの活動拠点となる市民センター施設等の維持管理及び施設運営を実施した。						

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R3年度 支出済額 12,384 千円	事業費節別内訳		主な内容	
		費目	支出済額(千円)		
		委託料	5,894 千円		庁舎管理委託、自家用電気工作物保安管理委託、機械警備委託
		需用費	5,827 千円		消耗品費、施設修繕費、光熱水費等
		使用料及び賃借料	152 千円		使用料、賃借料
財源内訳	R3年度 支出済額 12,384 千円	事業費節別財源内訳		3. 事務事業に関わる職員数(任用形態別)	
		費目	支出済額(千円)		
		分担金・負担金			令和3年度 常時勤務職員※ 2.19人工
		使用料・手数料	5 千円		短時間勤務職員(再任用・任期) 0.80人工
		国庫支出金			合計 2.99人工
県支出金		※再任用・任期付(フルタイム勤務)を含み、会計年度(フルタイム勤務)を除く			
その他(諸収入)	62 千円	会計年度任用職員(配置数)		6.00人	
一般財源	12,317 千円				

4. コスト分析

年度		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度				
コスト 支出	行政費用 A	58,673	73,445	57,457	42,628				
	(1)現金を伴う支出 (千円)	50,205	61,912	49,925	45,634				
	事業費(支出済額)	13,416	15,215	12,037	12,384				
	償還金利息	0	0	0	0				
	人件費合計(①+②+③)	36,789	46,697	37,888	33,250				
	①常時勤務職員等の給与等	26,429	35,285	27,635	23,526				
	②会計年度任用職員の報酬等	9,150	9,373	8,527	8,809				
	③退職金相当額	1,210	2,039	1,726	915				
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	8,468	11,533	7,532	-3,006				
	①減価償却費	8,746	8,641	8,572	8,522				
②退職給与引当金繰入額	-278	2,892	-1,040	-3,015					
③不納欠損額	0	0	0	0					
④その他()	0	0	0	0					
市民1人あたりの負担額 A/人口(円)		136.67	429,317	169.60	433,060	132.05	435,121	97.11	438,968
成果実績	指標名	目標	実績	目標	実績	目標	実績	目標	実績
	上記指標名の設定ができない理由	当該事務事業は、届出・相談・証明発行などの窓口業務に要する事務経費、施設の維持・運営に要する修繕・光熱水費等であるため、指標設定になじまない。							

※1 事業費(支出済額)・・・令和元年度以前の事業費は、支出済額から非常勤報酬額(「②会計年度任用職員の報酬等」欄の数値)を除いた額

※2 常時勤務職員等の給与等・・・任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出

※3 会計年度任用職員の報酬等・・・令和元年度以前の数値は、非常勤職員報酬額を示すもの

※4 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し、事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業の評価と今後の方針

評価		評価の視点と具体的内容	
評価	必要性	藤沢市がこの事務事業に対し支出する必要性は高いか	高
	有効性	事務事業の実施手法の有効性は高いか	高
	効率性	事務事業の実施にあたり、効率性は高いか	高
	公平性	事務事業の公平性は高いか	高
	その他	上記評価の視点以外に、特記すべき内容	無
事業の方向性		現状維持	
今後の方針			

6. 部長確認欄

部名	市民自治部	氏名	平井 護	確認日	2022/8/17
----	-------	----	------	-----	-----------

事務事業名	地域対策関係費										担当	部課名	市民自治部片瀬市民センター			
予算科目コード	会計	01	款	02	項	01	目	13	細目	003	説明	01	課等の長	横田 淳一	電話	6264

1. 事業概要

事業開始年度	平成 10 年度	終了(予定)年度	未定 年度	事業の性質	任意自治事務
事業概要	片瀬地区内における安全対策や緊急的な課題への迅速な対応を図った。				
対象	1. 個人	市民(片瀬地区)			19,872 人
根拠法令等					
事業実施内容	片瀬地区内の道路・下水・公園・環境等の日常生活ラインの障害への応急的な対策を行った。				

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R3年度 支出済額 250 千円	事業費節別内訳		
		費目	支出済額 (千円)	主要内容
		役務費	250 千円	広場内ベンチ移設、カーブミラー撤去、樹木の剪定
財源内訳	R3年度 支出済額 250 千円	事業費節別財源内訳		
		費目	支出済額 (千円)	
		分担金・負担金	千円	
		使用料・手数料	千円	
		国庫支出金	千円	
		県支出金	千円	
		その他 ()	千円	
一般財源	250 千円			

3. 事務事業に関わる職員数(任用形態別)

	令和3年度
常時勤務職員※	0.62人工
短時間勤務職員(再任用・任期)	0.00人工
合計	0.62人工
※再任用・任期付(フルタイム勤務)を含み、会計年度(フルタイム勤務)を除く	
会計年度任用職員(配置数)	0.00人

4. コスト分析

年度		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度
コスト 支出	行政費用 A	6,915	6,900	5,462	6,056
	(1)現金を伴う支出 (千円)	6,990	6,894	5,706	6,056
	事業費(支出済額)	245	91	0	250
	償還金利息	0	0	0	0
	人件費合計(①+②+③)	6,745	6,803	5,706	5,806
	①常時勤務職員等の給与等	6,417	6,399	5,371	5,547
	②会計年度任用職員の報酬等	0	0	0	0
	③退職金相当額	328	404	335	259
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	-75	6	-244	1
	①減価償却費	0	0	0	0
	②退職給与引当金繰入額	-75	6	-244	1
	③不納欠損額	0	0	0	0
	④その他 ()	0	0	0	0
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)		16.11 429,317	15.93 433,060	12.55 435,121	13.80 438,968
成果実績	指標名	目標	実績	目標	実績
	指標名	目標	実績	目標	実績
上記指標名の設定ができない理由		緊急・応急対応に関する事業のため、指標の設定はできない。			

※1 事業費(支出済額)・・・令和元年度以前の事業費は、支出済額から非常勤報酬額(「②会計年度任用職員の報酬等」欄の数値)を除いた額

※2 常時勤務職員等の給与等・・・任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出

※3 会計年度任用職員の報酬等・・・令和元年度以前の数値は、非常勤職員報酬額を示すもの

※4 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し、事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業の評価と今後の方針

評価		評価の視点と具体的内容	
評価	必要性	藤沢市がこの事務事業に対し支出する必要性は高いか	高
	有効性	事務事業の実施手法の有効性は高いか	高
	効率性	事務事業の実施にあたり、効率性は高いか	高
	公平性	事務事業の公平性は高いか	高
	その他	上記評価の視点以外に、特記すべき内容	無
事業の方向性		現状維持	
今後の方針			

6. 部長確認欄

部名	市民自治部	氏名	平井 護	確認日	2022/8/17
----	-------	----	------	-----	-----------

事務事業名	防災訓練等関係費										担当課	部課名	市民自治部片瀬市民センター			
予算科目コード	会計	01	款	02	項	07	目	01	細目	002	説明	01	課等の長	横田 淳一	電話	6264

1. 事業概要

事業開始年度	不明	年度	終了(予定)年度	未定	年度	事業の性質	任意自治事務										
事業概要	防災体制の強化と地域住民の防災意識の高揚を図るために総合防災訓練を実施した。																
対象	1. 個人	市民(片瀬地区)														19,872	人
根拠法令等	法律等	災害対策基本法															
事業実施内容	総合防災訓練の実施																

2. 歳出支出済額及び財源内訳

歳出	R3年度 支出済額 52 千円	事業費節別内訳		主な内容	
		費目	支出済額(千円)		
		委託料	52 千円		片瀬地区総合防災訓練業務委託
財源内訳	R3年度 支出済額 52 千円	事業費節別財源内訳		3. 事務事業に関わる職員数(任用形態別)	
		費目	支出済額(千円)		
		分担金・負担金			令和3年度 常時勤務職員※ 0.29人工
		使用料・手数料			短時間勤務職員(再任用・任期) 0.50人工
		国庫支出金			合計 0.79人工
		県支出金			※再任用・任期付(フルタイム勤務)を含み、会計年度(フルタイム勤務)を除く
その他()		会計年度任用職員(配置数)	0.00人		
一般財源	52 千円				

4. コスト分析

年度		平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度						
コスト 支出	行政費用 A	5,984	6,243	5,533	5,550						
	(1)現金を伴う支出 (千円)	6,020	6,240	5,655	5,550						
	事業費(支出済額)	52	52	52	52						
	償還金利息	0	0	0	0						
	人件費合計(①+②+③)	5,968	6,188	5,603	5,498						
	①常時勤務職員等の給与等	5,813	5,997	5,446	5,377						
	②会計年度任用職員の報酬等	0	0	0	0						
	③退職金相当額	155	191	157	121						
	(2)現金を伴わない支出 (千円)	-36	3	-122	0						
	①減価償却費	0	0	0	0						
	②退職給与引当金繰入額	-36	3	-122	0						
	③不納欠損額	0	0	0	0						
	④その他()	0	0	0	0						
市民1人あたりの負担額 A/人口 (円)		13.94	429,317	14.42	433,060	12.72	435,121	12.64	438,968		
成果実績	指標名	目標	453	単位	人	453	単位	人	453	単位	人
	実績		-	単位	人	-	単位	人	287	単位	人
備考		平成30年度、令和元年度は雨天により中止									

※1 事業費(支出済額)・・・令和元年度以前の事業費は、支出済額から非常勤報酬額(「②会計年度任用職員の報酬等」欄の数値)を除いた額
 ※2 常時勤務職員等の給与等・・・任用形態別の平均給与に人工数を乗じ算出
 ※3 会計年度任用職員の報酬等・・・令和元年度以前の数値は、非常勤職員報酬額を示すもの
 ※4 退職金相当額・・・年度内に発生した退職金総額を年度当初一般職員数で除し、事業に従事する一般職員数を乗じたもの

5. 事務事業の評価と今後の方針

評価		評価の視点と具体的内容	
評価	必要性	藤沢市がこの事務事業に対し支出する必要性は高いか	高
	有効性	事務事業の実施手法の有効性は高いか	高
	効率性	事務事業の実施にあたり、効率性は高いか	高
	公平性	事務事業の公平性は高いか	高
	その他	上記評価の視点以外に、特記すべき内容	無
事業の方向性		現状維持	
今後の方針			

6. 部長確認欄

部名	市民自治部	氏名	平井 護	確認日	2022/8/17
----	-------	----	------	-----	-----------